

東信可児経済倶楽部が講演会



野球指導者として学んだ成功と失敗の経験を語る高木豊さん＝可児市下恵土、アーラ

野球指導で得た成功と教訓語る 解説者の高木豊さん

東濃信用金庫の取引先でつくる「東信可児地区経済倶楽部」の総会と講演会が、可児市下恵土のアーラで開かれた。プロ野球解説者の高木豊さんが「成功と失敗で学ぶ大きな要素」と題して講演した。

可児市内の4支店と御嵩支店の取引先企業157社でつくる。総会で小池準之典会長は「イラン情勢など厳しい中だが、前向きで笑

顔で過ごしてほしい」とあいさつ。役員改選があり、新会長に市原崇光さん、新たな監査役は大脇慶二さんが選ばれた。

高木さんは、アテネ五輪で守備走塁コーチを務めた経験を語った。五輪予選前の壮行試合で状態が芳しくないときに、長嶋茂雄監督から「同じ気持ちで戦わなければ強くない」と激励されたとし、2戦目で打順を8番に下げた小笠原道大選手について「プライドを捨て活躍したことで、チームがまとまった」と振り返った。一方でメンバーを変えた五輪では銅メダルに終わり、「チームの和を乱す選手がいた。一人の人間が組織を壊すことがある」と教訓を語った。

職場でのコミュニケーション改善策として、部下の誕生日を覚えることを提案。「川上哲治監督が選手の妻の誕生日に豪華な花を送っていた」と逸話を紹介。リスペクトを示し、愛情をかけていることを表現できると述べた。(中村芳紀)